

《平成22年度～平成26年度》

宮崎市中期財政計画のポイント

(平成24年度ローリング)

「自立した、持続可能な財政」の実現を目指して

★目次★

はじめに 中期財政計画の概要	…1
ローリング(見直し)の目的と方法	…2
ローリングの結果①(試算の結果)	…3
ローリングの結果②(試算の比較)	…4
ローリングの結果③(試算の検証)	…5
ローリングの結果④(基金・市債残高及び公債費の推移見込み)	…6
参考:第四次宮崎市総合計画 後期基本計画 財政見通し	…7

平成24年10月
宮崎市企画財政部財政課





はじめに 中期財政計画の概要

★中期財政計画とは

- 宮崎市の財政運営の基本的な指針。理想とする財政のすがた「自立した、持続可能な財政」を実現するための取り組み(財政健全化対策・財政目標)をまとめたもの。普通会計を対象とする。

★計画期間

- 平成22年度から平成26年度まで

★主な財政健全化対策

- 歳入
市税の収納率向上、市債発行額の抑制(「元金ベースのプライマリーバランスの黒字化」厳守)
- 歳出
行政運営経費の削減(人件費・普通建設事業費・補助費等・物件費)

★財政目標

目標1	市債残高150億円以上の圧縮を目指す(対H21比 普通会計ベース)
目標2	財政5基金残高200億円以上の確保を目指す ※財政5基金: 財政調整基金、公共施設整備等基金、財源対策債等償還基金、土地開発基金、地域振興基金
目標3	行政運営経費100億円以上の削減を目指す(対H22予算比 一般財源ベース) ※行政運営経費: 人件費、普通建設事業費、補助費等、物件費



ローリング(見直し)の目的と方法

★24年度当初予算編成における成果

- 中期財政計画にもとづいて予算編成に取り組んだ結果、いずれの財政目標も達成し、「自立した、持続可能な財政」の実現に向けて一定の成果を上げることができた。

★ローリングの目的

- こうした成果を踏まえ、「収支不足の解消」と「財政目標の達成」を図り、「自立した、持続可能な財政」を実現するため、将来の財政運営に影響を与える要素を織り込んで、昨年度に試算した財政収支をローリング(見直し)し、適切かつ効果的に財政健全化に取り組む。
- ローリングの結果は、25年度当初予算編成に活用する。

★ローリングの方法

- 昨年度の財政収支試算をもとに、次の要素を反映させて歳入・歳出を試算する。

※反映させる主な要素

- 内的要素～23年度決算、24年度予算
- 外的要素～国の「中期財政フレーム(25～27年度)」・「概算要求組換え基準」・「地方財政収支の仮試算(24年9月発表)」、各種制度の改正、社会経済情勢の変化
 - ・「社会保障と税の一体改革」に伴う影響
 - ・総合防災対策や感染症予防対策など「市民の命を守る事業」の充実・強化

ローリングの結果①(試算の結果)

★平成23年度時点(ローリング前) ※普通会計ベース (単位:億円)

区 分	H21決算	H22決算	H23予算	H24計画	H25計画	H26計画
歳入①	1,545	1,556	1,503	1,471	1,468	1,474
歳出②	1,518	1,528	1,503	1,498	1,477	1,473
収支①-②	27	28	0	▲ 27	▲ 9	1
市債残高	2,139	2,119	2,086	2,062	2,028	1,989
財政5基金残高	252	244	233	216	219	220
行政運営経費削減額 対22予算比:一般財源ベース	—	—	6	11	40	45

★平成24年度時点(ローリング後) ※普通会計ベース (単位:億円)

H25-H26の収支を試算

区 分	H21決算	H22決算	H23決算	H24予算	H25計画	H26計画
歳入①	1,545	1,556	1,537	1,514	1,499	1,522
歳出②	1,518	1,528	1,508	1,514	1,515	1,526
収支①-②	27	28	29	0	▲ 16	▲ 4
市債残高	2,139	2,119	2,085	2,057	2,023	1,988
財政5基金残高	252	244	258	246	233	230
行政運営経費削減額 対22予算比:一般財源ベース	—	—	6	12	30	33

※市債残高に公立大学の債務承継分は含まない。

ローリングの結果②(試算の比較)

★歳入・歳出の比較(25年度から26年度までの合計額の差)

- 歳入は、市税、地方消費税交付金などの伸びにより79億円の増となる見込み。
- 歳出は、総合防災対策や感染症予防対策など「市民の命を守る事業」の充実・強化、社会保障費の累増、消費税増税の影響等により91億円の増となる見込み。
- 主な科目の増減とその要因は次のとおり。

(単位:億円)

区分 (増減額)	主な科目	増減額	増減の主な要因
歳入 (+79)	市税	+28	住民税(年少扶養控除廃止)・固定資産税等で18億円増、たばこ税10億円増
	地方交付税	▲6	地方財政計画の減(▲1.5%)及び市税の伸びによる影響
	地方消費税交付金	+29	社会保障と税の一体改革を反映させたため。H26に地方消費税収入の増(1.0%⇒1.7%)
	市債	+5	地方財政計画の増(+6.2%)、臨時財政対策債の伸びによるもの
歳出 (+91)	扶助費	+13	障害者施策費12億円増、乳幼児医療費助成4億円増、生活保護費7億円減 等
	物件費	+76	感染症予防対策(10億円)、基幹情報システム更新(12億円)、総合防災対策(10億円)等の増 H26に消費税増税分の増(6億円)
	繰出金	▲9	国民健康保険特別会計繰出金12億円減、介護保険特別会計繰出金5億円増 等
	普通建設事業費	+12	補助事業10%減、市単独事業±0%、総合防災対策にH25、H26の2カ年で10億円を投資



「宮崎市中期財政計画」～「自立した、持続可能な財政」の実現を目指して～

ローリングの結果③(試算の検証)

★ローリング後の財政収支

- 総合防災対策や感染症予防対策など「市民の命を守る事業」の充実・強化に、H25、H26の2ヵ年で20億円の需要を見込んだことなどから、財政収支不足額は昨年度試算時点より12億円増加の見込み。
- 引き続き徹底した行財政改革に取り組むことにより、早期の収支不足解消を目指す。

★ローリング後の財政目標

- 目標3「行政運営経費」については、100億円圧縮の目標達成を図るものの、「市民の命を守る事業」の20億円の実施により、目標額を『80億円』に見直し。

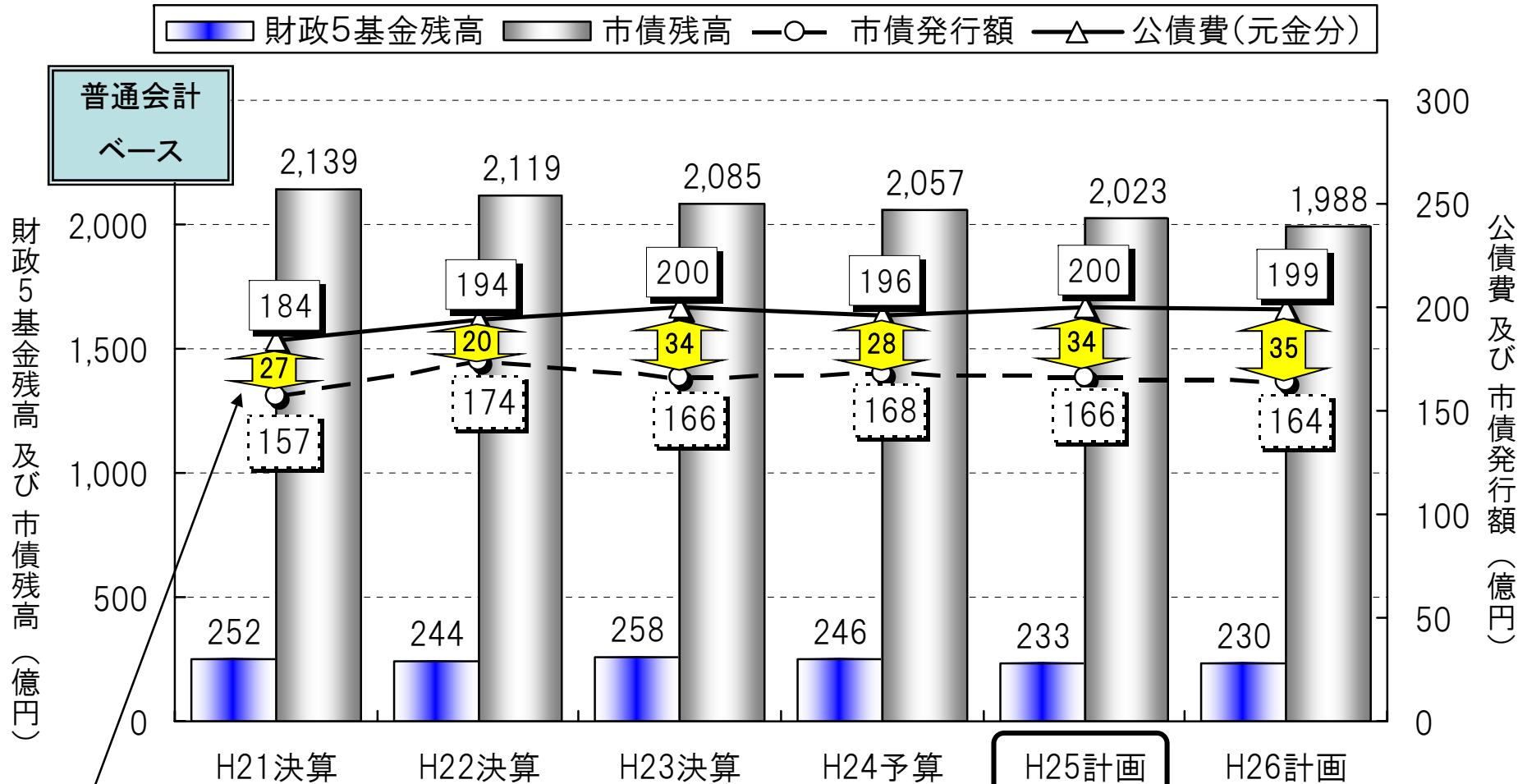
目 標		見込額	達成度
目標1	市債残高を150億円以上圧縮 (対H21比 普通会計ベース)	151億円圧縮	達成
目標2	財政5基金残高を200億円以上確保	230億円確保	達成
目標3	行政運営経費100億円⇒80億円以上の削減 ^{注)} (対H22予算比 H26までの合計 一般財源ベース)	81億円削減	達成

注) △100億円+20億円=△80億円

★ローリングの結果は予算編成に活用

- ローリングの結果は25年度当初予算編成に活用し、財政健全化路線を堅持。
- 今後も当初予算編成に合わせて、毎年度ローリングを実施し、「自立した、持続可能な財政」の実現を目指す。

ローリングの結果④(基金・市債残高及び公債費の推移見込み)



差 PB(プライマリーバランス)の黒字化・・・市債発行額が公債費(元金分)を下回っていること。

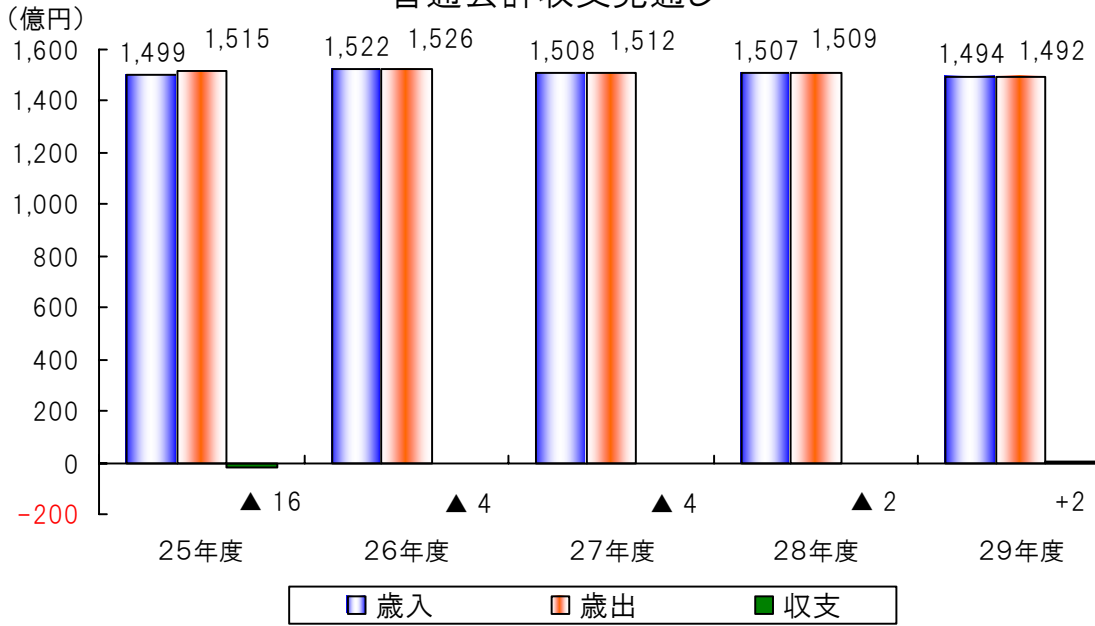
【注】市債残高に公立大学の債務承継分は含まない。



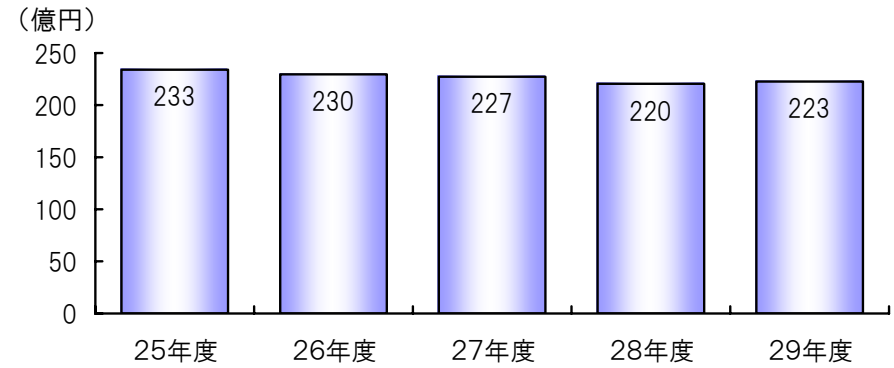
「宮崎市中期財政計画」～「自立した、持続可能な財政」の実現を目指して～

参考：第四次宮崎市総合計画 後期基本計画 財政見通し

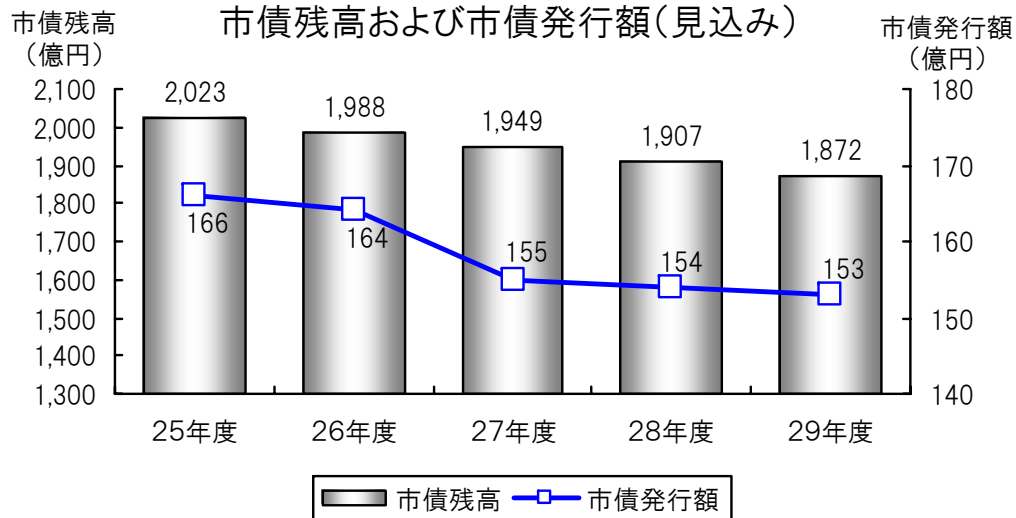
普通会計収支見通し



財政5基金残高(見込み)



市債残高および市債発行額(見込み)



★今回の中期財政計画のローリングを踏まえ、第四次宮崎市総合計画(後期基本計画)期間である平成25年度から平成29年度までの5年間の財政見通しを試算。

試算結果

- 平成29年度での収支黒字化を見込む
- 財政5基金残高は200億円以上を確保
- 市債残高は順調に削減